

科名 血液内科 血内181

対象疾患名 APL

プロトコール名 JALSG APL212 C4

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	・・・	15
1	点滴注	側管	ソル・コーテフ 生理食塩液	100mg 50mL	30分かけて マイロターグ投与1時間前	↓		↓
2	点滴注	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて	↓		↓
3	点滴注	側管	マイロターグ注 注射用水 生理食塩液	4mg/m <sup>2</sup> 5mL/V 100mL	2時間かけて 調製、投与時遮光 投与1時間前に前投薬服用 専用ルート使用	↓		↓

## MEMO～

中等度催吐性リスク(30-90%)

## 《マイロターグ》

- ・遮光下で1vを注射用水5mLで、泡立てないように静かに回転させながら溶解(1mg/mL)の濃度とする
- ・投与の際は、孔径1.2μm以下の蛋白結合性の低いメンブランフィルター(ホリエーテルスルホン製等)を用いたインラインフィルターを使用すること(JY-PF340P52)。また、同一の点滴ルートで他の薬剤を使用しないこと。
- ・14日間の投与間隔で2回まで投与可。3回以上投与した場合の有効性・安全性は確立していない

## 《infusion reaction対策》

- ・マイロターグ投与1時間前にアセアミノフェン 0.5g及びホラミン(2) 1錠を投与する。
- その後も必要に応じ、これらの追加投与を考慮する。
- ・投与前から投与終了4時間までモニタリングする。